

【法律学科】

◆時間割作成手順

(1)事前登録科目を記入(基礎部門・専門部門)	
英語Ⅰ(総合)②	(通年)週1回 クラスにより曜日時限は異なる
ドイツ語初級またはフランス語初級④	(通年)週2回 クラスにより曜日時限は異なる
法学への誘い②	(前期)水2
憲法Ⅰ(人権)④	(通年)C・F・G・I・J=月4、A・B・D・E・H=木2
民法Ⅰ(総則)④	(通年)C・F・G・I・J=木3、A・B・D・E・H=金1
民法Ⅳ(債権各論)④	(通年)C・F・G・I・J=火2、A・B・D・E・H=月5
刑法Ⅰ(概論及び犯罪成立要件)④	(通年)C・F・G・I・J=金4、A・B・D・E・H=火2
基本書演習【後期】②	(後期)水2 ※後期予備申請
(2)1年生のうちから履修できる基礎部門 外国語科目(独語または仏語)を選んで記入(卒業までに4単位必要)	
(予)英語Ⅱ(実践)②	(通年)週1回
(予)英語Ⅲ(コミュニケーション)②	(通年)週1回
ドイツ語コミュニケーションまたはフランス語コミュニケーション (通年)週1回 クラスにより曜日時限は異なる	
(3)1年生のうちから履修できる基礎部門 教養科目・外国語科目(特別外国語)・キャリアデザイン科目を選んで記入(卒業までに12～16単位必要)	
※対象科目は履修の手引P.30-43参照	
(4)合計単位数を確認	
(5)空きコマ、各曜日のバランスを確認	
(6)予備申請科目手引P.5-7、選考科目手引P.8-10、全学共通教育科目手引P.7があるか確認	
(7)全学共通教育科目の抽選結果、授業に出席した結果をふまえ、時間割を修正(履修登録期間内の追加・削除)	

※○で囲まれた数字は単位数を表しています。(例)①=1単位

◆時間割例(A組の事例)

	月	火	水	木	金	
1					通)民法Ⅰ(総則)④	
					通)民法Ⅰ(総則)	
2	前)コンピュータ・リテラシーA1②	通)刑法Ⅰ(概論及び犯罪成立要件)④	前)法学への誘い②	通)憲法Ⅰ(人権)④	通)ドイツ語初級	
	後)コンピュータ・リテラシーA2②	通)刑法Ⅰ(概論及び犯罪成立要件)	後)基本書演習②ダミー	通)憲法Ⅰ(人権)	通)ドイツ語初級	
3		通)英語Ⅱ②		前)こころと身体a②		
		通)英語Ⅱ		後)こころと身体a②		
4	通)英語Ⅰ(総合)②	通)ドイツ語コミュニケーション②	通)ドイツ語初級④	通)英語Ⅲ②		
	通)英語Ⅰ(総合)	通)ドイツ語コミュニケーション	通)ドイツ語初級	通)英語Ⅲ		
5	通)民法Ⅳ(債権各論)④					
	通)民法Ⅳ(債権各論)					
単位数	10	8	8	10	4	40

年間履修上限単位数	40単位
- 登録済みの必修科目	26単位
自分で履修登録する選択科目	14単位

		(必修) 英語Ⅰ(総合)	(選択必修) ドイツ語初級	(選択必修) フランス語初級	(選択) ドイツ語 コミュニケーション	(選択) フランス語 コミュニケーション
独	法1A	月4	水4、金2		火4	
	法1B	月2	木4、金4		水5	
	法1C	月2	水5、金3		火5	
	法1D	木3	月4、金5		水3	
	法1E	木4	月2、金2		水4	
仏	法1F	水3		月1、金2		水3
	法1G	水3		月2、金1		木4
	法1H	木3		月4、水3		金4
	法1I	木2		月3、水3		金3
	法1J	金3		月5、木2		火4

(選択) 英語Ⅱ(実践)
月2、月3、火3、火4、水3、 木1、木2、木3、金2

(選択) 英語Ⅲ(コミュニケーション)
月2、月4、火3、水3、水4、 木1、木2、木3、木4、金2